

特定非営利活動法人ピープルデザイン研究所(所在地：東京都品川区)

事業名

りんごプロジェクトによるアクセシブルな読書活動の推進と生涯学習の拡大

事業の趣旨・目的

- 趣旨) 図書館や学校で読書バリアフリーを推進し、誰もが生涯にわたり自分らしい学びを継続できる社会を目指す
- 目的) ・読書や図書館利用に困難のある人々が、自分の読みやすさを見つけ生涯学習につながるきっかけをつくること
- ・多様なニーズに対応し、公平性や公共性の高い情報拠点としての図書館をもっと増やすこと

事業実施体制・連携先

NPO法人ピープルデザイン研究所／りんごプロジェクトが主体となり事業を実施

連携先) 神奈川県川崎市・横浜市教育委員会事務局、島根県立大学、読書バリアフリー専門家、横浜市学校・地域コーディネーター、ボランティア、障がい当事者、出版社、図書館関係者、教育関係者、大学生など

主な対象

すべて

活動分野

学習/普及啓発/広報

事業の取組内容

■ 体験会・出張授業の実施

今年度は特別支援学校および高等学校を中心に出張授業を実施。アクセシブルな図書の体験と当事者の語りを組み合わせた実践型プログラムを展開した。

- ・実施回数：32回
- ・参加者数：延べ2000人
- ・実施先：特別支援学校12校、高等学校3校、公共図書館5館 ほか

【成果】

- ・障害の社会モデルや「読む方法の一つではない」という理解が若年層に広がった
- ・特別支援学校図書館における「りんごの棚」設置相談が増加
- ・教職員から継続研修の依頼が生まれた

■ 多分野連携によるネットワーク拡張

教育委員会、大学、出版社、企業、障害当事者団体と協働し、地域横断的なモデルを構築。

【成果】りんごプロジェクト愛媛の設立、横浜での布絵本講座開設

■ 「りんごの棚」の設置・拡大

公共図書館・学校図書館・地域施設と連携し、アクセシブルな図書を集めた「りんごの棚」の設置を推進。

【成果】

- ・新規設置：120か所
 - ・自治体・教育委員会との協議進展
- 「棚を作る」から「活用される仕組みづくり」へと段階が進んだ。

■ 出版・情報発信による普及啓発

監修書『りんごの棚と読書バリアフリー』（全3巻）の活用が全国に拡大。

【成果】

- ・都道府県立図書館等での研修実施
- ・読書バリアフリーが「障害者サービス」にとどまらない概念であることの理解拡大
- ・図書館行政レベルでの政策議論への波及

活動の様子



その他

■ 政策・行政連携の進展

- ・文部科学省施策における評価と表彰
 - ・東京都「インクルーシブな学び」関連事業への参画
 - ・学校卒業後の学び事業（王子特別支援学校公開講座）実施
- #### ■ モデルの制度化・社会実装の進展
- ・教育委員会との継続協議
 - ・自治体との連携拡大



りんごPJのHP